

## 世界文化遺産「富士山」 その富士山を取り巻く構成資産のひとつ「白糸の滝」

そこかしこ  
其処彼処でひっそり支える、共生の工法

※2



※1 富士山頂 NEX

※2 白糸の滝 LXR

環境省)富士山頂馬の瀬/ネックス柵 (2014年9月撮影)



富士山頂の現場までは資材と人はキャタピラで2時間掛けてようやく到着します。

酸素が薄い中での作業は体力も消耗しがちです。  
また環境的にも過酷な条件のため、ネックス柵(NEX)も特別仕様です。天端には雪害対策用のレックス(LEX)も設置。

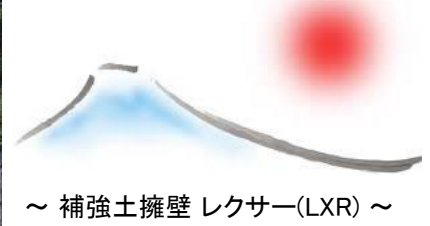
現場で施工される皆さんは山小屋に宿泊しての施工。  
帰りは約6時間ほどかけて、ゆっくり下山。

平地ではまだ夏の残る9月、富士山頂付近は雪。





----- 白糸の滝 -----  
(構成資産)



～ 補強土擁壁 レクサー(LXR) ～



----- 木和田川砂防堰堤 -----  
(登録有形文化財)



～ 鋼製残存型枠  
スリーエスフォームレス(3SF) ～



復旧後



被災前



静岡県が明治45年から2年間かけて建設した堰堤は、オランダの技術者が伝えた石積堰堤で、その形状から兜堰堤とも呼ばれています。  
H15年に被災したが、3SFを使って強靱な復旧を行い、その上から当時の写真を元に石積みを再現しました。  
この堰堤は、国の登録有形文化財に指定されています。